

2023年度 〇〇県 ●●●温泉 「新・湯治」効果測定調査 プロジェクト結果概要報告

●●●温泉利用者の約8割が
より健康になったことを実感！

新・湯治

〇〇県●●●温泉では、環境省が実施しています温泉地で得られる療養効果を把握するための「全国『新・湯治』効果測定調査プロジェクト」に参加し、調査を実施しました。この度、2023年度に実施しました314件の結果がとりまとめられましたので、ご報告いたします。

結果① 温泉地滞在後は心身に良い変化が得られ、98.2%が癒されたと感じました。

結果② 古くからの湯治場として有名な●●●温泉は全国平均と比べて「健康」「コリや痛み」「むくみ」「冷え」が改善されると答えた方の割合が高く、温泉入浴により身体の状態改善に期待。

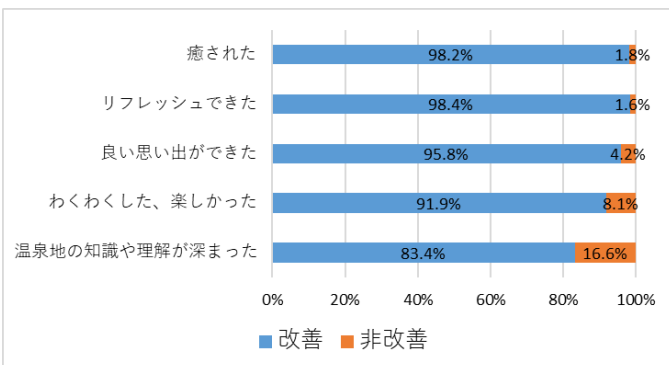
結果③ ●●●温泉の利用者は「泉質」を評価し、「湯治」利用客も多く、入浴による心身の状態の改善（癒す等）を高く評価しています。

■調査の実施方法

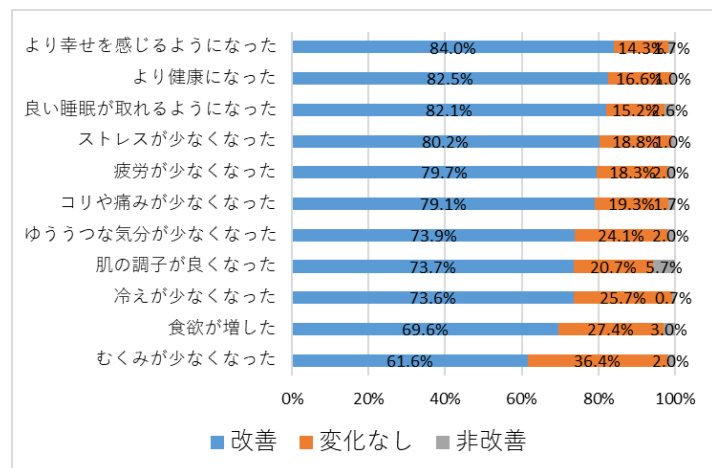
- ・調査地点：〇〇県●●●温泉
- ・有効回答数：314件(男：119人 女：181人 未記入：14人)
- ・対象者年齢：63.2±13.7歳（平均±標準偏差）
- ・調査時期：2023年7月中旬～10月31日
- ・方法：全国統一の自記式調査票（調査紙、WEB）を用いた横断調査。●●●温泉を利用した者へ各旅館の受付で調査票を配布
- ・調査事務局：●●●温泉、一般財団法人日本健康開発財団（環境省から委託）

■主な調査結果（1）温泉地訪問・利用後の主観的变化

①温泉地訪問の主観的な感想（複数回答）



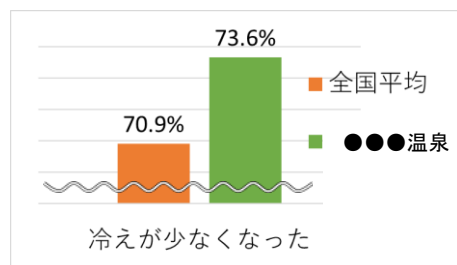
②温泉地利用後の心身の主観的变化（複数回答）



- ・温泉地訪問の主観的な感想では、「癒された」「リフレッシュできた」「良い思い出ができた」「わくわく、楽しかった」を9割以上の利用者が実感しています。
- ・温泉地利用で、「幸せを感じる」「より健康になった」「睡眠」「ストレス」など多くの主観的項目で7～8割の利用者が改善しています。

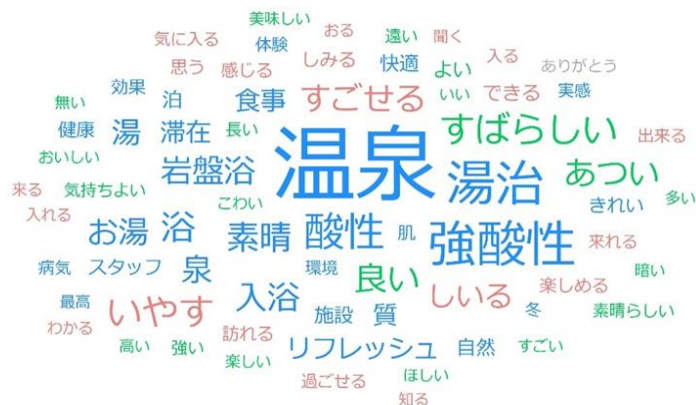
(2) 結果（無回答を除く有効パーセントから）

- ・冷えが少なくなった



- ・●●●温泉と全国平均との比較から、「コリや痛み」「むくみ」「冷え」が少なった、及び「より健康になった」の身体の改善を感じた利用者が多いことがわかりました。
- ・●●●温泉は昔ながらの湯治場としての環境、天然の岩盤浴、塩化物を含む強い酸性の温泉であることから、上記の改善を感じられた可能性があります。

(3) 温泉地についての感想のワードクラウド(自由記述の分析結果)



- ・温泉地の感想から、「良い温泉」「強酸性」「酸性」と温泉の質の高さを高く評価した感想が多いことがわかりました。
- ・もともと病後の療養に来る利用者が多い温泉として著名ですが、「湯治」「岩盤浴」や「癒す」のワード記載も多く、湯治を目的とした利用者が多いことが改めて確認できました。
- ・温泉の泉質の良さから湯治として利用され、心身の状態改善がみられることが示されました。

ユーザーローカル テキストマイニングツールを使用
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

■今後の展開

(各温泉地にて記載いただく)

写真